

提出された意見の概要とそれに対する市の考え方

案 件 名：あきる野市農業振興計画

募 集 期 間：令和8年1月15日（木）～令和8年1月29日（木）

意見等提出件数：12件（提出者3名）

あきる野市農業振興計画（案）に対する意見募集にご意見ありがとうございました。

以下のとおり、ご意見の概要と市の考え方について、ご紹介させていただきます。

項 目	意見の概要	市の考え方
課題と施策について 全般	あきる野市の農をどのようにとらえ、持続可能な農業生産にどうつなげるか、系統立てて施策を並べていくことが肝要と感じた。	課題と施策の記載についてのご意見として承りました。 貴重なご指摘として受け止め、今後活かさせていただきます。
農業振興計画のビジョンについて 第2章 1 目指すべき方向	地域の農を住民に開いて、都市型農業というものが発展するようなビジョンが農業振興計画のトップに書かれていると良いと感じた。	あきる野市の農業は、都市型農業だけではなく、中山間地域や河川沿いの水田地域など様々農地がございます。このことから、都市農業に特化したビジョンとはしておりません。
新規就農者支援について 第3章 1 多様な担い手の確保・育成 (3) 農外からの新規就農・定着支援	新規就農者への教育・支援など切れ目ない支援と計画が必要と思う。	第3章の1の(3) 農外からの新規就農・定着支援の施策において、引き続き新規就農者への支援等を継続してまいります。
現状と課題について 全般	農業従事者の減少と高齢化、耕作地の減少問題は深刻な状況です。現状を市民に認識してもらうことが大事だと思う。環境農林部だけでなく、関係部署と連携して知恵を出してほしいと思う。	現状について市民への情報提供が大事であるのご指摘として承りました。 関係部署と連携して、市民への問題提起に努力してまいります。
農地の環境や多面的機能について 第1章	農業にとって、食料生産は第1であるが、生産に関するものがほとんどで、環境や多面的機能について、第3章では触れていますが、あまり書かれていないと思う。	環境面については、同時期に策定される、第三次環境基本計画でも触れられていることから、関係部署と連携して環境面についての取組も進めてまいります。

<p>有機農業について 第3章 3 持続可能な農業の推進 (1) 環境に配慮した農業等の推進</p>	<p>有機農業などの持続可能な農業には、土地の地力を回復させることにつながります。市内でも取り組まれている人たちがいるので、行政としても応援してほしい。</p>	<p>有機農業につきましては、収穫量、手間、コストなど農家の負担も多いことから、引き続き農家の意見も聞きながら、支援策などについて、検討してまいります。</p>
<p>農業振興計画全般について あきる野市農業振興計画策定検討委員会について</p>	<p>農業従事者の希望と同様に消費者の希望も大事である。計画策定段階において市民参加を進め、需要に基づく供給により生産者の笑顔につながるようにする必要がある。委員の消費者代表人数を増やすと良い。</p>	<p>農業振興計画の策定にあたり、消費者代表を公募で2名募集しましたが、申し込みが1名でありました。いただいたご意見を参考に次回は、複数名の委員を選考できるよう努力してまいります。</p>
<p>農業研修について 第3章 1 多様な担い手の確保・育成 (3) 農外からの新規就農・定着支援 ①研修先や農地のあっせん</p>	<p>町田市ではNPO法人に委託し、農業研修が行われている。あきる野市でも行えると良いと思う。</p>	<p>現在、本市では、認定新規就農者を希望する方に限り、東京都で実施している、農業アカデミーでの農業研修を案内する他、市内農業者に研修をお願いしております。市独自の農業研修については、実施場所や指導員の確保などの課題もあることから、貴重なご提案として受け止めさせていただきます。</p>
<p>半農半Xの導入について 第3章 1 多様な担い手の確保・育成</p>	<p>甲府市では半農半X応援事業を行っている。あきる野市でも導入し、支援策を検討してほしい。</p>	<p>第3章の1の(5) 移住・定住に対応した農地等のあっせんの施策において、需要なども確認し、今後の検討材料とさせていただきます。</p>
<p>食育に関する取組について 第3章 3 持続可能な農業の推進 (3) 農畜産物の消費拡大と地産地消</p>	<p>小中学校における農業体験をカリキュラム、クラブ活動に取り入れるのはどうか。</p>	<p>現在、一部の学校において、お米の収穫体験や野菜の収穫体験などが授業の一環として開催されております。学校活動として取組むには、様々な課題もあることから、貴重なご提案として受け止めさせていただきます。</p>
<p>学校給食について 第3章 3 持続可能な農業の推進 (3) 農畜産物の消費拡大と地産地消 ③学校給食等での利用拡大</p>	<p>地元農産物のみならず、有機農産物を取り入れてほしい。</p>	<p>有機農産物の導入については、導入する野菜の規格や必要量の確保などの課題もありますので、貴重なご提案として受け止めさせていただきます。</p>

<p>ファーマーズセンターについて</p> <p>第3章</p> <p>3 持続可能な農業の推進</p> <p>(3) 農畜産物の消費拡大と地産地消</p> <p>①直売所の維持・整備</p>	<p>ファーマーズセンターに輸入品があり驚いた。魅力的な国産品を販売してほしい。</p>	<p>J Aあきがわと連携して、魅力ある地元農産物の販売を目指してまいります。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------	---------------------------------------------